

発想するって楽しいですよ！

(株) TAS 高見 千鶴

「困った！」「どうしよう！」「なんとかしなければ！」仮にこれを問題と考えますと、仕事は問題解決の連続とも言えますね。また私生活でもこうした問題や悩み、壁にぶつかりますね。仕事も人生もある意味、問題解決の連続です。こうした問題に直面した時、みなさんのアイデア発想力の出番なのです。アイデアの素材は、みなさんがこれまでの学生生活や仕事生活、家庭生活で培ってきた知識、経験なのです。みなさんの持っている知識や経験は、みなさんにとって宝物といえるものです。アイデア発想とは、そんなみなさんの宝物を活かして、問題を解決するための方法を考えることなのです。もっと言うと、問題を解決する答えは、みなさんの中にある！ということです。

「でも、もう年だし…」ベテランのみなさんは、若手に比べて、知識・経験が豊富です。それだけアイデア発想の素材をたくさん持ち得ているということなのです。「まだ若手なので、知識・経験が少ないし…」だからこそ、前例や常識や固定観念にとらわれない発想ができます。これからは、発想力に関して、年齢のせいにするのはやめましょう。

人間の持つ能力は、使わないと錆びていきます。スマートフォンやパソコンを使っているせいか、最近漢字が書けなくなってきた！とか電話番号が覚えられない！ などありませんか？ 同様に、アイデア発想力も使わないと錆びてきます。

では、アイデア発想力を豊かにしていくには、どうすればよいのでしょうか。アイデア発想力は、筋肉と少し似ています。どちらも力を発揮するためには、まず負荷をかける＝使うことが重要です。本を読む、話をきくだけではダメなのです。仕事や私生活の中で困っていることや悩んでいることに対して、「どうすればいいか、アイデアを考える」「工夫をする」をやってみましょう。その時、ちょっとしたコツがあります。頭の中だけで展開するよりも、付箋紙やメモ、ノートに書きだしてみましょ。実は手書きというのは、私たちの脳の前頭前野（思考や発想をつかさどる領域）を刺激するといわれています。また、歩くこと、散歩をすることで、脳に良い刺激を与えることができます。

これらは主に一人でやる場合ですが、仕事の場面では、周囲の方への良い問いかけがアイデア発想力のスイッチになることも多いのです。「～に困っていて、どうすればいいかな」「～について、なんかいいアイデアない？」という問いかけです。人間、問いかけられたら誰でも考えます。仕事の場面では、お互いが問いかけ上手になることがお互いのアイデア発想力を豊かにしてくれます。また、自分の考えたアイデアを聴いてもらうことで、自分の頭の整理ができたりすることもあり、アドバイスをもらうことはとても有効なのです。

このように、アイデア発想力は、いくつかの小さなコツとほんの少しのやってみよう！という気持ちがあれば、誰でもいくつかからでも伸ばし、発揮が可能な能力の一つです。そして、それは、私たちの仕事や私生活を豊かにしてくれるものです。

これから私たちを取り巻く環境は、変化の質もスピードも私たちが経験したことのない想定をはるかに超えたものになっていくことでしょう。だからこそ、ひとりひとりの発想力で、佐賀県の自治体の未来を明るく豊かなものにしていきましょう！

大学卒業後、法律系出版社にて営業担当者として新規顧客を精力的に開拓する。その後、大手教育研修団体にて研修講師活動に15年間従事し、延べ500社以上の企業・団体の研修を担当する。後に株式会社TAS創研の役員を経て株式会社TAS設立 役員に就任・CMC（国際コンサルタント機構認定）全日本能率連盟認定マスター・MGT・コンサルタント



研修受講者に楽しみながら知的刺激を与え、モチベーションを高めていく進め方が特徴です。

・活動分野（研修テーマ）： アイデア発想力向上、コーチング、コミュニケーションスキル向上、キャリア開発、セルフエンパワメント（主体性）、階層別研修、インストラクター養成 女性活躍